

環境にやさしい生産管理技術の開発

- 実施期間：令和5～9年度
- 担当部署：病理昆虫部、土壤化学部
- 区分：プロジェクト（みどり戦略プロジェクト）

○研究内容

近年、温暖化等により病害虫のまん延リスクが増加しています。一方で化学農薬への過度の依存により灰色かび病菌やコナジラミ類などでは薬剤耐性や抵抗性発達が問題となっています。また、土壌くん蒸剤についても使用者暴露や周辺環境への影響等から使用量削減が求められており、これまで以上に総合的病害虫管理の重要性が高まっています。

そこで、化学農薬の使用量削減をさらに推進するため、県内の主要野菜品目であるトマトおよびほうれんそうを対象に環境にやさしい有機JAS適合農薬や天敵の活用技術、新たな防除資材開発、施用技術開発、発生予測など減農薬につながる要素技術の開発と体系化を行います。あわせて、今後の有機栽培の普及拡大に資するため、水稻を対象に栽培検証を行います。

